



DIGITAL MIXING CONSOLE

CL5

CL3

CL1

V3.1 追補マニュアル

この追補マニュアルでは、CL5/CL3/CL1 ファームウェア V3.1 で追加 / 変更された機能を中心に説明します。
CL5/CL3/CL1 V3 取扱説明書、リファレンスマニュアルと併せてご利用ください。

目 次

インプット系チャンネル	3
パン設定の追加機能（モノラルインプットチャンネルのみ）	3
LR-MONO 設定にした場合の入力信号処理変更 （ステレオインプットチャンネルのみ）	4
I/O デバイス画面	5
サポートデバイスの追加	5
サードパーティー製機器の HA コントロール機能追加	7
セットアップ画面	8
カスケード接続の機能追加	8
チャンネルジョブ	10
リコールセーフ機能のパラメーター追加	10
シーンメモリー	11
グローバルペースト機能のパラメーター追加	11
フォーカスリコール機能のパラメーター追加	11
SAVE/LOAD 画面	12
USB メモリーのリマウント機能追加	12
その他の機能	13
NAME SUB CPU ファームウェアのアップデート手順の変更	13
Dante ファームウェアのアップデート機能の追加	13

インプット系チャンネル

パン設定の追加機能（モノラルインプットチャンネルのみ）

STEREO バスに送られる信号のパンにおいて、PAN LAW の設定が選択できるようになりました。以下の2つから選択できます。

CENTER NOMINAL	パンのレベル特性はセンターでノミナル、振り切りで +3dB となります。
LR NOMINAL	パンのレベル特性はセンターで -3dB、振り切りでノミナルとなります。

NOTE

この PAN LAW の設定は、ステレオ設定された MIX バスに送られる信号の PAN LAW 設定にも反映されます。

手順

1. 操作したいモノラルタイプのインプットチャンネルを選ぶ。
2. OVERVIEW画面で操作したいチャンネルのSTEREO/MONOフィールドのノブを押して選択し、もう 1 回ノブを押す。もしくは SELECTED CHANNEL 画面で操作したいチャンネルの PAN/BALANCE フィールドのノブを押して選択し、もう 1 回ノブを押す。
3. TO STEREO/MONO 画面の PAN LAW 選択ボタンを使って、チャンネルごとに PAN LAW の設定をする。



① PAN LAW 選択ボタン

トグルボタンで、インプットチャンネルの PAN LAW の設定をします。



CENTER NOMINAL の場合



LR NOMINAL の場合

NOTE

PAN LAW の設定は、LCR モードのときも有効になります。またサラウンドモードのときも有効になります。

PAN LAW の設定状態は、以下の画面からも確認できます。**LRN** マークが表示されているチャンネルは、PAN LAW が LR NOMINAL に設定されていることを示しています。

- TO STEREO/MONO 画面 (CH1-48、CH49-72/ST IN(CL5)、CH49-64/ST IN(CL3)、ST IN(CL1))



- OVERVIEW 画面 (STEREO/MONO フィールド)

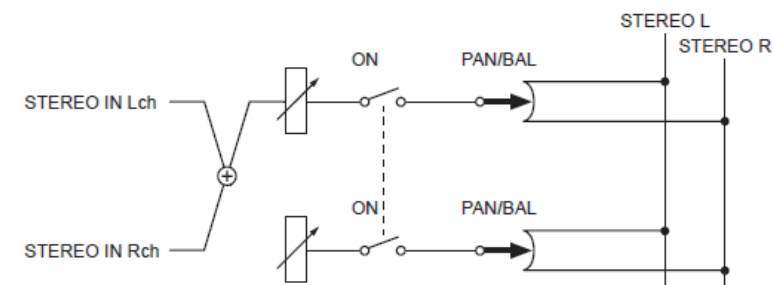


- SELECTED CHANNEL VIEW 画面 (PAN/BALANCE フィールド)



LR-MONO 設定にした場合の入力信号処理変更 (ステレオインプットチャンネルのみ)

適切なレベルになるように LR-MONO 設定に関して、以下のように信号処理を変更しました。両チャンネルを加算してモノラル信号にしますが、ステレオインプットチャンネルの R 側チャンネルがミュートされます。



NOTE

- LR-MONO に設定すると、同時に PAN モードに切り替わります。また PAN ノブの設定はセンターになります。
- LR、L-MONO、R-MONO のどれかに設定すると、同時に BALANCE モードに切り替わります。また BALANCE ノブの設定はセンターになります。

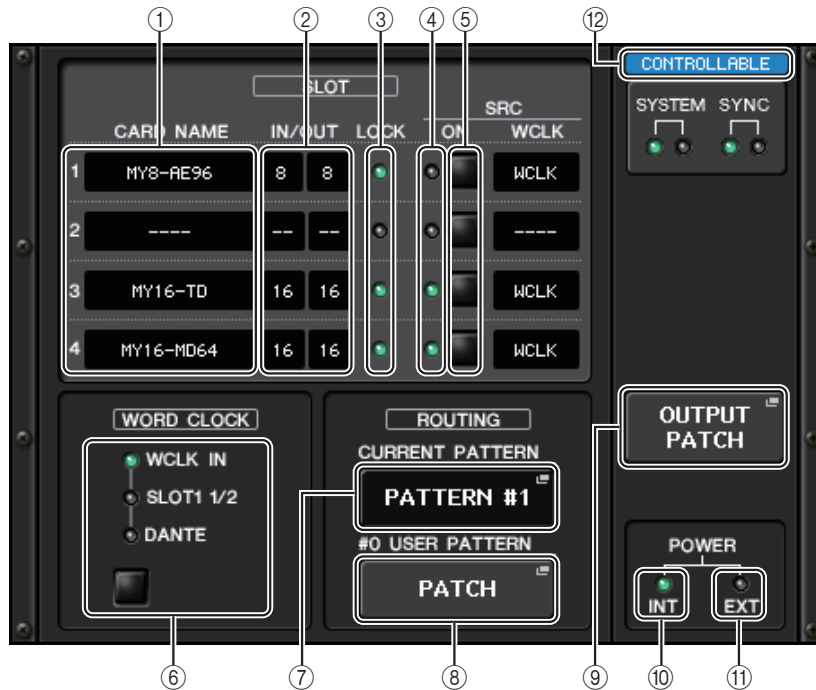
I/O デバイス画面

サポートデバイスの追加

RSio64-D が新たにサポートされました。I/O デバイス画面にて RSio64-D を操作することができます。

I/O デバイス画面 (I/O ページ)

■ RSio64-D 表示



① カード名

スロット 1 ～ 4 に装着されている各カードの名前が表示されます。未装着の場合は、「----」と表示されます。

② IN/OUT PORT

スロット 1 ～ 4 に装着されている各カードの入力ポート数および出力ポート数が表示されます。カードが装着されていない場合は、「--」と表示されます。

③ SLOT1 ～ 4 LOCK インジケータ

スロット 1 ～ 4 のワードクロックの状態 (ステータス) を表示します。正常に動作しているときは、緑色で点灯します。

消灯	スロットにカードが挿入されていない。または未対応のカードが挿入されています。
緑 (点灯) LOCK	WORD CLOCK セレクトキーで選択したクロックソースと同期したクロックが、カードから入力されていることを示します。該当するスロットに外部機器が接続されている場合は、その機器と RSio64-D との間で正常に入出力が行なわれています。なお、サンプリング周波数が近接している場合、非同期であってもこのステータスを示すことがあります。
緑 (点滅) SYNC ERROR	カードからは有効なクロックが入力されていますが、WORD CLOCK セレクトキーで選択したクロックソースとは同期していません。該当するスロットに外部機器が接続されている場合、その機器と RSio64-D の間では、正常に入出力が行なえません。SRC を ON にすることで正常に入出力を行なえます。
赤 (点灯) UNLOCK	カードから有効なクロックが入力されていません。該当するスロットに外部機器が接続されている場合、その機器と RSio64-D との間では、正常に入出力を行なえません。
赤 (点滅) WRONG WORD CLOCK	WORD CLOCK セレクトキーで選択したクロックソースの周波数が、スロットに挿入されたカードの動作周波数範囲外です。クロックソースの周波数をカードの動作範囲内にするか、SRC をオンにしてください。また、アナログカードの場合は、SRC をオンにすることによって、RSio64-D 内蔵の 48kHz で動作します。

④ SLOT1 ～ 4 SRC インジケータ

スロット 1 ～ 4 の SRC(Sampling Rate Converter) の状態を表示します。

消灯	SRC がオフ。
緑 (点灯)	SRC がオンで、RSio64-D の SRC WCLK ディップスイッチで選択したクロックが正常に入力されています。
赤 (点灯)	SRC はオンになっていますが、適切なクロックが入力されていません。RSio64-D の SRC WCLK ディップスイッチで選択したクロックが入力されていないか、動作範囲外であることが考えられます。SRC をオフにするか、ディップスイッチの設定を変更してください。

NOTE

スロットに挿入した Mini-YGDAI カードへの SRC クロックは、RSio64-D の SRC WCLK ディップスイッチで選択します。

⑤ SLOT1 ～ 4 SRC ボタン

スロットの IN 側、OUT 側両方の SRC のオン / オフをスロットごとに切り替えます。

⑥ WORD CLOCK セレクトボタン

RSio64-D 本体のワードクロックソースを選択します。

- WORD CLOCK WCLK IN インジケータ
- WORD CLOCK SLOT1 1/2 インジケータ
- WORD CLOCK DANTE インジケータ

RSio64-D 本体のワードクロックソースの状態を表示します。

WCLK IN	RSio64-D のリアパネルの WORD CLOCK IN 端子から入力されているワードクロック信号を使用している場合に点灯します。有効なワードクロック入力がない場合は点滅 ^{*1} します。
SLOT1 1/2	RSio64-D のスロット 1 のチャンネル 1/2 のワードクロックを使用している場合に点灯します。有効なワードクロック入力がない場合は点滅 ^{*1} します。MY8-AEB 使用時 ^{*2} はチャンネル 7/8 のワードクロックを使用します。
DANTE	Dante ネットワークのワードクロック ^{*3} を使用している場合に点灯します (有効な Dante 信号入力がない場合は、内蔵 Dante モジュールが生成するクロックで動作します)。

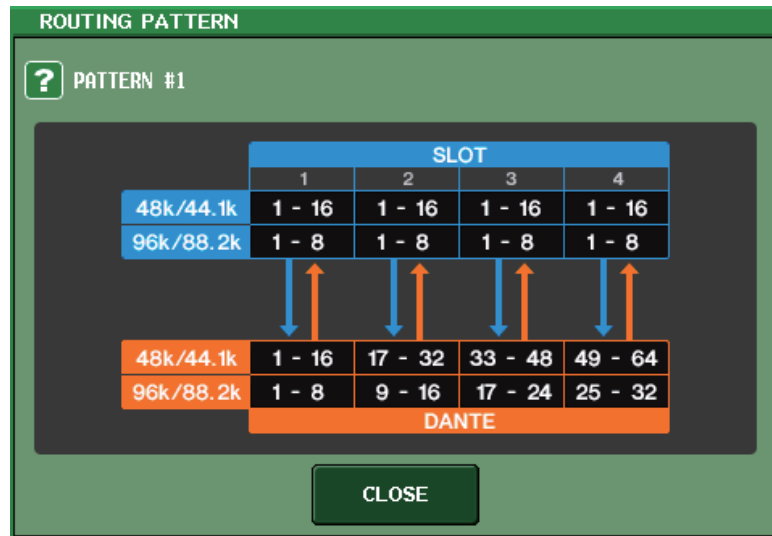
*1 点滅時は Dante ワードクロック^{*3}で動作し、入出力が行なえます。

*2 MY8-AEB を使用する場合は、カードの AE ⇄ RSVD スイッチを RSVD 側に設定してからご使用ください。

*3 Dante ワードクロックの周波数を変更する場合は、Dante Controller を使用してください。

⑦ CURRENT PATTERN ボタン

ボタンを押すと、RSio64-D 本体内で現在選択されているルーティングパターンを表示します。RSio64-D でルーティングパターンを切り替えた場合は、3 秒経つと反映されます。

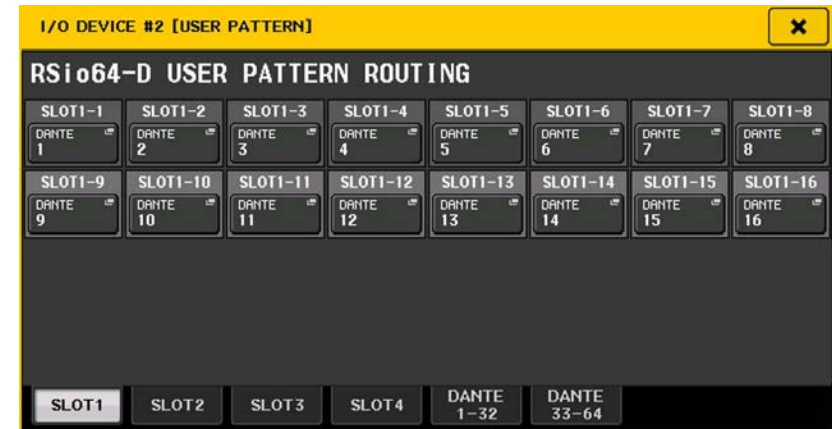


⑧ USER PATTERN ボタン

ボタンを押すと、RSio64-D 本体内のルーティングユーザーパターンを設定する画面が開きます。スロットおよび Dante のそれぞれの出力ポートへのパッチを設定します。

NOTE

スロットからスロットへのパッチ (同一スロットへのパッチも含む) も可能ですが、Dante から Dante へのパッチには対応しておりません。



⑨ OUTPUT PATCH ボタン

このボタンを押すと、RSio64-D に出て行く Dante 64ch を設定する OUTPUT PATCH 画面が表示されます。

⑩ POWER INT インジケータ

RSio64-D の AC IN 電源の通電状態を表示します。電源スイッチがオフの場合は、AC IN への電源の供給状態によらず消灯します。

⑪ POWER EXT インジケータ

RSio64-D の EXT DC INPUT 電源の通電状態を表示します。電源が供給されていれば点灯します。電源スイッチの状態には影響されません。

⑫ コントロールステータスインジケータ

デバイスのコントロール状態を表示します。

DISCOVERING	コントロール対象のデバイスを探している状態
CONNECTING	デバイスとの接続を試みている状態
SYNCHRONIZING	デバイスとの同期中
CONTROLLABLE	デバイスのコントロールが可能な状態

サードパーティー製機器の HA コントロール機能追加

対応するサードパーティー製機器の HA(ヘッドアンプ) を、コンソールからコントロールできるようになりました。DANTE SETUP 画面から HA コントロール可能なデバイスとして登録することで、HA のコントロールができるようになります。

NOTE

- PREVIEW モード中の、コンソールからの HA パラメーター変更はデバイスに反映されません。
 REMOTE HA ASSIGN 画面で “WITH RECALL” の オン / オフ の設定ができます。
 シーンライブラリーへのストア / リコール、ファイルへのセーブ / ロードができます。
 CL シリーズ V3.1 で対応するサードパーティー製品は次の 2 つになります。
- ・ Focusrite 社製 RedNet 4
 - ・ Focusrite 社製 RedNet MP8R

登録できるデバイスの数は R シリーズを含めて最大 8 台です。R シリーズも含めて、登録済みのデバイスと UNIT ID が重複している場合も登録できます。コントロール対象のデバイスとの接続が確立されていない状態でも、HA パラメーターを事前に調整することができます。

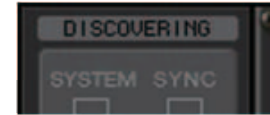
コントロール可能なパラメーターは次のとおりです。



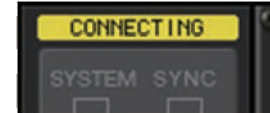
- ① HA のファンタム電源 (+48V) のオン / オフ
- ② HA ゲイン
- ③ HA の HPF のオン / オフ

NOTE

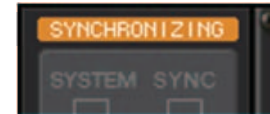
ラック部分の右側のインジケータには、デバイスのコントロール状態を表示します。



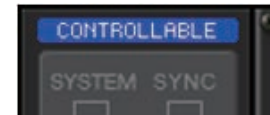
コントロール対象のデバイスを探している状態



デバイスとの接続を試みている状態



デバイスとの同期中



デバイスのコントロールが可能な状態

対象のデバイスをパッチしたインプットチャンネルからは次の操作ができます。

- ・ インプットチャンネルライブラリーのストア / リコール
- ・ チャンネルジョブ (チャンネルリンクなど)
- ・ ユーザーレベルによる HA コントロールの制限 (インプットチャンネル側から HA を操作した場合のみ)
- ・ AG-DG LINK

NOTE

ゲインコンペンセーションに対応していないデバイスでは操作できません。

セットアップ画面

カスケード接続の機能追加

CL シリーズどうしをカスケード接続するときに、リンクできる操作対象が増え、複数選択が可能になりました。

CASCADE 入力信号にアッテネーターが搭載されました。

CASCADE 画面 (CASCADE IN PATCH ページ)



① CASCADE LINK ボタン

CL シリーズどうしをカスケード接続するときに、リンクさせる操作対象を選択します。複数選択が可能です。

・ DCA 1-8

以下の DCA 1～8に関するパラメーターがリンクします。

- ・ DCA 1～8のレベル
- ・ DCA 1～8のオン / オフ

- ・ DCA 1～8のキュー
- ・ DCA 1～8の DCA MUTE TARGET(DCA グループのミュート対象)

NOTE

キューモードが LAST CUE であったとしても、対象となる DCA のキューはカスケード接続されているコンソール間で同時にオンとなります。

・ DCA 9-16

以下の DCA9～16に関するパラメーターがリンクします。

- ・ DCA9～16のレベル
- ・ DCA9～16のオン / オフ
- ・ DCA9～16のキュー
- ・ DCA9～16の DCA MUTE TARGET(DCA グループのミュート対象)

NOTE

キューモードが LAST CUE であったとしても、対象となる DCA のキューはカスケード接続されているコンソール間で同時にオンとなります。

・ MUTE MASTER

ミュートマスターのオン / オフがリンクします。

NOTE

ディマー機能の設定はリンクしません。それぞれのコンソールで設定してください。

・ SENDS ON FADER

SENDS ON FADER の挙動がリンクします。

- ・ SENDS ON FADER モード
- ・ 送り先バス

・ CUE

以下のキューに関するパラメーターやイベントがリンクします。

- ・ 各種キューの有効 / 無効
- ・ キューモード (MIX CUE または LAST CUE、5.1 SOLO)

NOTE

5.1SOLO については、カスケード相手が Stereo モードであった場合、リンクされません。

- ・ インプット系チャンネル / アウトプット系チャンネルのキューポイントの設定

・ OTHERS

以下のパラメーターがリンクします。

- ・ シーンのリコール操作
- ・ シーンのスストア操作
- ・ シーンタイトルの編集
- ・ ディマー機能 (MONITOR 画面) の操作
- ・ パネル LED とディスプレイのブライツネス (SETUP 画面) の操作

② タブ

項目 (CASCADE IN PATCH または CASCADE IN ATT、CASCADE OUT PATCH) を切り替えます。

CASCADE 画面 (CASCADE IN ATT ページ)



① ATT ノブ

カスケード入力信号に対するアッテネーターの値 (-96.0dB ~ 0.0dB) が表示されます。Centralogic セクションのマルチファンクションノブ 1 ~ 8 や [TOUCH AND TURN] ノブで調節できます。

NOTE

入力レベルの調整可能な SUB IN として使用することができます。これによりインプットやバスを占有することなく、他のコンソールの信号をバスにサミングすることができます。

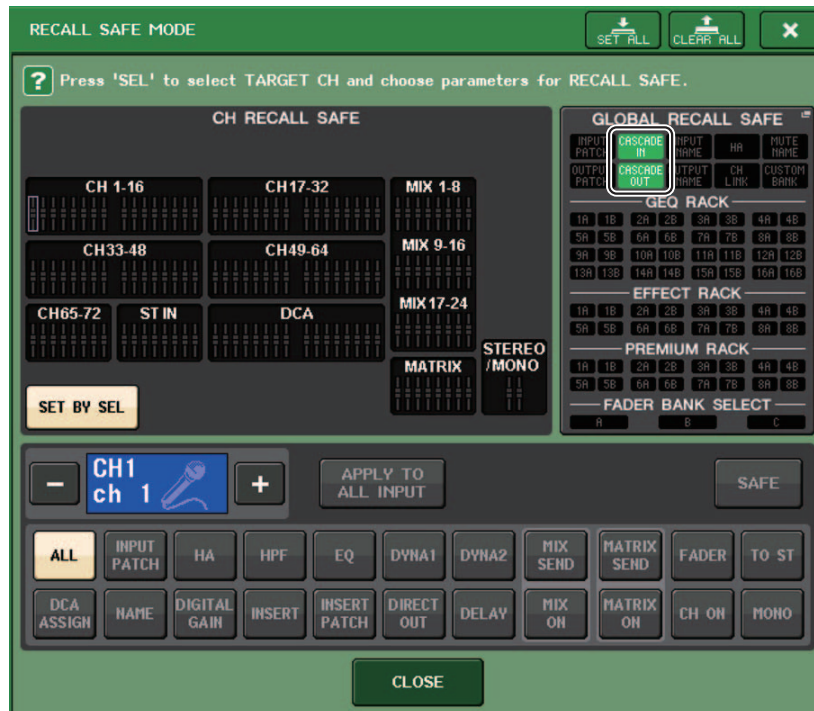
チャンネルジョブ

リコールセーフ機能のパラメーター追加

リコール操作から除外できるパラメーターが追加されました。

RECALL SAFE MODE 画面

GLOBAL RECALL SAFE フィールド内に、CASCADE IN と CASCADE OUT が追加されました。



GLOBAL RECALL SAFE 画面

追加されたパラメーターは、次のとおりです。

CASCADE IN	CASCADE IN PATCH および CASCADE IN ATT の設定
CASCADE OUT	CASCADE OUT PATCH の設定



シーンメモリー

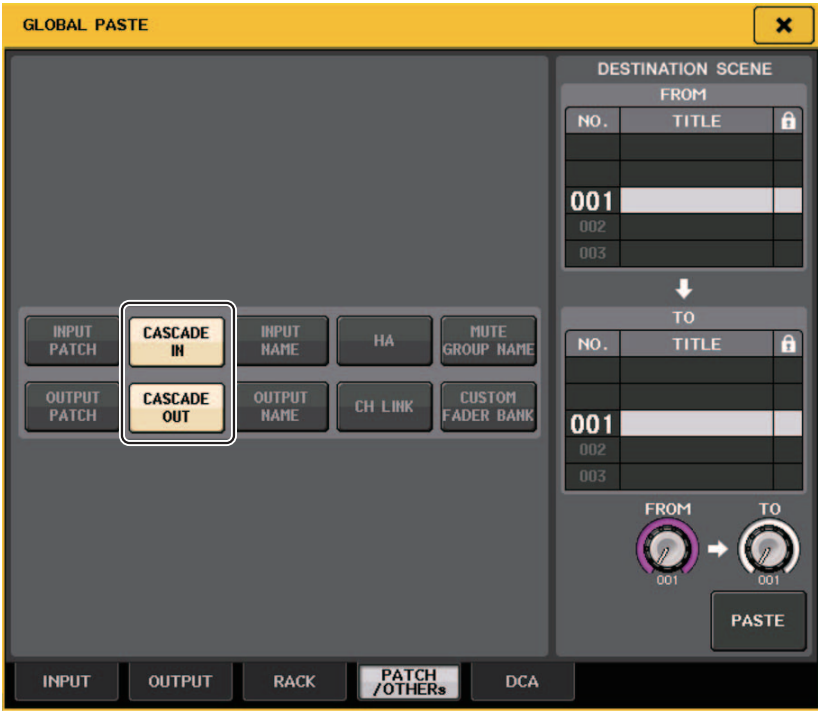
グローバルペースト機能のパラメーター追加

グローバルペースト機能に関して、選択できるパラメーターとして CASCADE IN と CASCADE OUT が追加されました。

GLOBAL PASTE 画面 (PATCH/OTHERs ページ)

追加されたパラメーターは、次のとおりです。

CASCADE IN	CASCADE IN PATCH および CASCADE IN ATT の設定
CASCADE OUT	CASCADE OUT PATCH の設定



フォーカスリコール機能のパラメーター追加

フォーカスリコール機能で設定できるパラメーターが追加されました。追加されるパラメーターはリコールセーフ機能で追加されたパラメーターと同じです。

SAVE/LOAD 画面

USB メモリーのリマウント機能追加

USB メモリーがマウントされていない状態のときは、FORMAT ボタンが USB REMOUNT ボタンになります。押すと USB メモリーをマウントします。USB メモリーを抜き差ししても認識されないようなときに使用します。

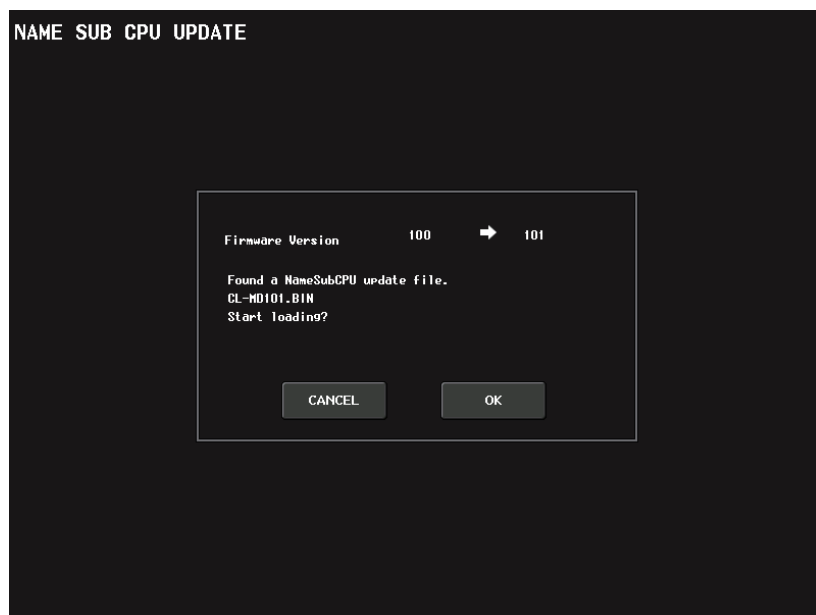
その他の機能

NAME SUB CPU ファームウェアのアップデート手順の変更

USB メモリーから CL 本体の NAME SUB CPU のファームウェアをアップデートする手順が変更になりました。以下の画面が表示されましたら、NAME SUB CPU のファームウェアをアップデートするモードに入ったことになります。操作の詳細は、「CL5/CL3/CL1 ファームウェア アップデートガイド」をご参照ください。

アップデート中は本体の電源を切ったりしないでください。

このモードから抜けるには、CANCEL ボタンを押します。



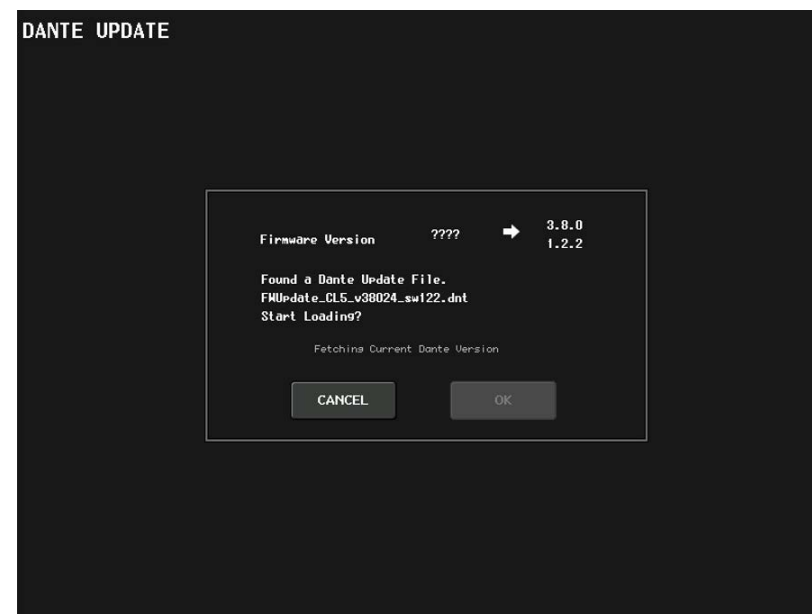
Dante ファームウェアのアップデート機能の追加

Dante Firmware Update Manager を使用せずに、USB メモリーから CL 本体に内蔵している Dante モジュールのファームウェアをアップデート可能になりました。

以下の画面が表示されましたら、Dante モジュールのファームウェアをアップデートするモードに入ったことになります。操作の詳細は、「CL5/CL3/CL1 ファームウェア アップデートガイド」をご参照ください。

アップデート中は本体の電源を切ったりしないでください。

このモードから抜けるには、CANCEL ボタンを押します。





ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト:
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>
ヤマハマニュアルライブラリー:
<http://download.yamaha.com/>

Manual Development Department
© 2015 Yamaha Corporation

2015年7月発行 MA-A0